

2015年7月8日

株式会社ノーチラス・テクノロジーズ

ノーチラス・テクノロジーズがさくらインターネットに

Asakusa Framework™で開発した大規模データの高速処理基盤を導入し、

顧客単位での精度の高い原価計算を実現

高速処理基盤は Apache Spark™で構築

株式会社ノーチラス・テクノロジーズ(本社:東京都品川区、代表取締役社長:神林 飛志、以下 ノーチラス)は、インターネットデータセンター事業を運営するさくらインターネット株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:田中 邦裕、以下さくらインターネット)に、分散処理の運用・開発のオープンソースフレームワークである「Asakusa Framework™(*1)」で開発した原価計算システムを導入したことを発表いたします。分散処理基盤には、Apache Spark™ (*2)を利用しており、Hadoop MapReduce よりも3~5倍ほど高速な原価計算処理を実現しました。

【原価計算システム導入の背景】

さくらインターネットは、インターネットデータセンター事業を運営しており、東京・大阪・石狩に自社データセンターを有し、レンタルサーバ、専用サーバ、仮想専用サーバ(VPS)をはじめとしたサービスの提供を行っています。これまでこうしたサービスの原価は、データセンターで取得した情報のサマリーをもとに、ラックやサーバ単位で一律に配賦を行い、計算をしていました。しかし、さくらインターネットでは、サービスの改善や魅力ある新サービスの開発を行うためにユーザ単位での原価の把握をしたいと考えていました。

【原価システムの導入での結果】

さくらインターネットは、大量業務データの分散処理で実績のあるノーチラスと、ユーザや物理サーバ毎のコストなど細粒度のコストを算定するプロジェクトに取り組みました。電力量やトラフィック量等の膨大なログデータと、ユーザ毎の会計データを紐つけ原価を算出するシステムを構築し、最初に石狩データセンターで提供されるVPSと専用サーバの原価計算を実施しました。従来型のRDBMSでは20時間程度かかる日次の原価計算が約10分で完了し、リアルタイムに近い状況で原価の見える化を実現しました。これにより、ユーザや物理サーバ毎にかかっている原価を素早く把握し、意思決定までのスピードを速くすることを可能としています。

今後、さくらインターネットでは、この原価計算システムを各データセンターに展開すること、また原価計算だけでなく、蓄積したデータを予測やシミュレーションに活用することを検討しています。取り組みを進めることで、サービス改善やビジネスモデルの見直しに結びつけていくことを目標としています。

【新たな分散処理基盤への適用で更なる高速化を目指す Asakusa Framework™】

大量のログ等の情報や業務データを取り扱う基盤として分散基盤を採用しました。当初はRDBMSで20時間かかっていた処理を、MapReduceの処理では約1時間、Apache Spark™の処理では約10分で処理を終えています。

また、アプリケーション開発基盤には、Asakusa Framework™を採用しています。Asakusa Framework™は、複雑な業務ロジックをHadoop等の分散並列処理基盤で平易に開発・実行するためのミドルウェアです。今回の原価計算システムでは、Asakusa Framework™の実行基盤にApache Spark™を追加し、Hadoop MapReduceより、さらに高速に処理が実行できるようになりました。

Asakusa Framework™のサイト:<http://www.asakusafw.com/>

【さくらインターネット様からのエンドースメント】

高品質で低価格なサービスの実現のために、常に正確に原価を把握することは重要です。これまで当社は、コストを案分しており、実際のトラフィック動向や、個々のお客様データがどの国、どのISPに流れているか把握できていませんでした。また、サーバの情報も運用上の情報しか把握できていませんでした。

今回のシステムの導入により、顧客のトラフィック動向、サーバの利用状況など幅広い情報をベースに、数十万のサーバ、様々な規模のお客様の正確な原価をリアルタイムに把握できるようになりました。これにより、価格競争力の高いサービスを実現するとともに、より収益体質の強い経営を手に入れることができました。

さくらインターネット株式会社
代表取締役社長 田中 邦裕 様

【インテル様からのエンドースメント】

激化する企業競争の環境において、データに基づく意思決定はますます重要度を増しています。インテルのビッグデータ市場開拓活動をきっかけとして、インテル® Xeon® プロセッサ・ファミリーを基盤に新たに構築されたノーチラス・テクノロジーズ様の分散データ処理基盤が、さくらインターネット様のような事業者において、超高速な経営意思決定システムとして活用が開始されたことを歓迎いたします。今後、本ソリューションが多くの企業によって採用され企業経営の効率化がさらに促進されることを期待いたします。

インテル株式会社
常務執行役員
ビジネス・デベロップメント
平野 浩介 様

(*1) Asakusa Framework™は分散処理基盤上で大規模な基幹バッチ処理を行うためのフレームワークであり、オープンソースソフトウェアとして注目を浴びています。Asakusa Framework™を利用することで、基幹バッチを簡単にかつ理解しやすい形で開発することが可能となり、大容量データを多数のサーバで分散並列処理させて高速なデータ処理を実現しています。

(*2) Apache Spark™は、高速で汎用性の高い、スケーラブルなデータ処理基盤を提供する目的で作成されたオープンソースソフトウェアです。

※Asakusa Framework™は、株式会社ノーチラス・テクノロジーズの登録商標です。

※Apache Spark™は、Apache Software Foundation の登録商標です。

※インテル®、Xeon®は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の登録商標です。

ノーチラス・テクノロジーズについて

会社名 : 株式会社ノーチラス・テクノロジーズ

Nautilus Technologies, Inc.

所在地 : 東京都品川区北品川 1-19-5 コーストライン品川ビル

代表者 : 代表取締役社長 神林 飛志

設立 : 2011年10月3日

URL : <http://www.nautilus-technologies.com/>

報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社ノーチラス・テクノロジーズ 営業部 白石、目黒

TEL : 03-6712-0636

E-mail : contact@nautilus-technologies.com